



ホームページ [http://www.hokkyodai.ac.jp/edu\\_center\\_remoteplace/](http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/)  
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp  
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292

## 1. 令和元年度へき地・小規模校教育研究センター 研究費助成の公募について 「へき地・小規模校教育研究計画」を募集します。

北海道教育大学教員の皆様

令和元年度へき地・小規模校教育研究センター研究費助成の公募について  
「へき地・小規模校教育研究計画」の募集

へき地・小規模校教育研究センター  
センター長 玉井康之

下記の通り、へき地・小規模校教育研究センターでは、へき地教育研究・教育活動を発展させ、全体的な成果を蓄積していくために、グループおよび個人で進める研究・教育活動の研究費助成の公募を行います。

本年度は、公募の時期が7月となったため、申請書提出締め切りを8月30日（金）とし、それに伴う次年度の『へき地教育研究』紀要への投稿論文締め切りを2020年7月31日（金）とします。提出先はへき研センター事務局です。

へき地・小規模校教育研究は、極めて幅広く、教科教育・総合的な学習・学級経営・生徒指導・学校運営・地域連携・へき地教育政策など多岐にわたっています。また理論も実践も往還しながら研究が蓄積されています。この様にあらゆる観点からへき地・小規模校教育研究が取り組まれています。今後ともへき地・小規模校教育研究の裾野を広げたいと思いますので、これらに関係する研究を進めたいと思われる方はぜひ積極的な申請を御願います。

研究費助成を受けた方は、次年度の紀要『へき地教育研究』への投稿が義務となりますが、『へき地教育研究』はすでに73号を刊行し、多様な研究成果が蓄積されて、国内外から注目されています。『へき地教育研究』への投稿は本学教員であれば誰でも投稿できますので、こちらの方もぜひ多くの皆様に積極的にエントリーして頂きたいと思います。

令和元年度は、次のような方法で募集します。

### (1) 研究計画の申請

\* 研究課題は、へき地教育を前提にして「(4)研究計画の申請にあたって」にある3つの領域に属するものとします。

- \* 研究計画書の請求は、へき研事務室までメールでお問い合わせください。
- \* 研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入してください。  
また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。
- \* 経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。
- \* 申請額の上限は10万円、採択件数が多い場合には、1件あたり減額される場合があります。
- \* 研究計画書（1部）は、8月30日（金）正午までに、へき研事務室に提出もしくはメール送付してください。

## (2) 研究計画の採否

- \* 9月上旬を目処に決定します。

## (3) 研究成果について

- \* 研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第74号に投稿することになります。  
原稿の締め切りは、2020年7月31日です。
- \* なお、可能な限り当センターが主催する“へき地教育推進フォーラム”にご参加頂きたいと思っております。また成果普及を目的として、“へき地教育推進フォーラム”で、話題提供して頂くことがあります。

## (4) 研究計画の申請にあたって

研究計画の申請にあたり、投稿原稿は、へき地・小規模校教育に係る研究論文（学術論文としての体裁を有するもの）、研究ノート（実践報告を含む）、その他研究活動に関するものとします。研究論文、研究ノートは、次の3つの領域に属するものとし、①②③の各領域の関連については例示を参考にしてください。

- ① へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ② へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ③ へき地・小規模校教育にかかわる地域研究

### 《テーマの例示》

- ◇ 学習指導・複式指導・少人数学級経営・生徒指導に関する領域
  - ・ へき地の社会性を伸ばす学級経営
  - ・ へき地の少人数指導・特別支援教育
  - ・ へき地の複式学習指導
  - ・ へき地のICTを活かした教育活動
  - ・ へき地の生徒指導
  - ・ へき地の教科教育内容

- ◇ 学校運営・地域連携に関する領域
  - ・ へき地の学校運営
  - ・ へき地の体力向上を目指した活動
  - ・ へき地の学校・地域連携における教育活動
- ◇ 特別活動に関する領域
  - ・ へき地の特色ある教育活動
  - ・ 総合的な学習活動
- ◇ その他（へき地教育関連分野で編集委員会が認めたもの）

## 2. 令和元年度第1回へき地・小規模校教育研究センター 会議が開催されました。

6月29日(土)札幌駅前サテライトにおいて標記会議が開催され、5キャンパスから22名が参加しました。今回は釧路校の浅利祐一キャンパス長もセンターの活動内容を把握するために、参加して頂きました。

議題の主な項目は、以下の通りです。

- ① 令和元年度の事業計画と予算案
- ② 各キャンパスへき地校体験実習実施要項と受け入れ状況（8月～12月）
- ③ 令和元年度「へき地・小規模校教育推進フォーラム」（8/28）の開催と準備状況
- ④ 令和元年度「へき地・小規模校教育研究計画」の募集（8/30）
- ⑤ 北海道立教育研究所との協同運営研修講座（7/9と9/3）
- ⑥ 日本教育大学協会全国研究集会発表（10/5）
- ⑦ JICA・台湾へき地教育視察団の受け入れ（7月）
- ⑧ へき研センターの全国教育協同利用拠点申請および面接（7/19）の状況
- ⑨ 「へき地・複式学校における学習指導の手引き」の改訂版の2020年度発行
- ⑩ 遠隔教育プロジェクトへの協力
- ⑪ 北海道へき地・複式教育研究空知大会（9/19～9/20）および檜山プレ大会（9/27）への参加
- ⑫ 全国教育研究所連盟加入（4/1～）、などです。



へき研センター会議では、各キャンパスの状況を報告し合いながら、今後の方向性について活発な議論が交わされました。センター運営委員は、各キャンパスのへき地校体験実習に加えて



様々な事業活動や研究普及活動にすでに取り組んでいますが、その成果は広く全国的に行き渡るようになってきています。北海道内および全国からへき研センターへの問い合わせや研修依頼も増えています。今後もセンターの機能を高め、北海道内外のへき地・小規模校教育研究と実践の発展のために、役割を推進していくことが確認されました。

長崎県のへき地教育の方法を学べる貴重な機会です。ぜひ、ご参加下さい!!

主催 国立大学法人北海道教育大学 協力大学 国立大学法人長崎大学  
後援 北海道教育委員会、全国へき地教育研究連盟、北海道へき地・複式教育研究連盟、長崎県へき地・小規模校教育研究連盟

令和元年度第1回へき地・小規模校教育推進フォーラム

# へき地・小規模校の教師教育と 大学・教育委員会の役割

— 離島型・内陸型へき地の特徴から人材育成のあり方を考える —

本フォーラムでは、離島型へき地の典型としての“長崎県”と内陸型へき地の典型としての“北海道”を比較しながら、養成・研修・人事などのあり方を検討し、双方の良さを学び合います。

総合司会 北海道教育大学函館校センター員 根本 直樹

I. 開催挨拶 北海道教育大学学長 蛇穴 治夫

II. 基調報告

「現代におけるへき地・小規模校教育研究の可能性と今後の課題」

北海道教育大学副学長 玉井 康之

III. シンポジウム 13:50～

「長崎と北海道のへき地の人材育成の取り組みと可能性」

《司会》北海道教育大学釧路校センター員 境 智洋

●「離島教育に対応した長崎大学地域教育総合支援センターと  
教員養成・研修の役割」

長崎大学副学長・地域教育総合支援センター長 中村 典生 氏

●「離島教育に対応した長崎県教員研修と人事制度の取り組み」

長崎大学教育学研究科教授・前長崎県教育センター所長 長谷川 哲朗 氏

●「北海道教育大学の全学的へき地教育の推進と教職意欲向上の取り組み」

北海道教育大学旭川校センター員 坂井 誠亮

北海道教育大学旭川校センター員 芳賀 均

●「北海道の広大なへき地を対象にした教員の資質向上策と教員研修制度」

北海道立教育研究所所長 北村 善春 氏

「講評」

文部科学省総合教育政策局教育人材政策課

教員養成企画室室長補佐 金 郁夫 氏

IV. 閉会挨拶 北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター副センター長 川前 あゆみ

【常設展示】北海道教育大学のへき地教育実践の映像とポスター

事前にcrc@j.hokkyodai.ac.jpまでお申込みください。(当日、直接来場も可能です。)

事前申込・お問合せ



北海道教育大学 学務部 地域連携推進室

札幌市北区あいの里5条3丁目1-3

Tel: 011-778-0890 E-mail: crc@j.hokkyodai.ac.jp

8/28 (水)

13:00~17:30

北海道教育大学  
事務局 第1会議室

札幌市あいの里5条3丁目1-3  
JR あいの里教育大学前駅下車

●参加無料●

